

モバイルオフィスカー導入推進

現場の残業時間削減に貢献

大成ロテック

大成ロテックは2月27日、東京・新宿区の本社で

開催した全国工事部長会議に併せ、モバイルオフィスカーの実車展示会を行った。写真。オリックス自動車が開発した移動事務所車で、営業用バンを改造し、サテライトオフィスの代わりとして使用できる

よう事務所機能を備えている。

同社は、16年からモバイルオフィスカーの導入を始め、全国に展開している。従来なら事務所に戻り残業で行っていたメール処理や日報作成などの事務作業を、工事現場での業務時間に行うことで、残

業時間の削減を実現している。

展示会では、デスクを大きくとった事務所タイプや、車両後部がフラットになり休憩所としても利用できるタイプ、積荷スペースを広く確保したタイプの3パターンの車両が展示された。



実車を初めて見た社員や全国工事部長からは「現場事務所を設置しない現場

場での休憩や打ち合わせスペースとして使いたい」「空き時間の有効活用」に役立つ」といった感想が寄せられ、働き方改革の推進を目的として積極的に導入したいとの意見もあがった。

同社は今後も、現場の意見を取り入れながら、仕事に対する「やりがい」の創出を目的に、働き方改革に取り組んでいくとしている。